

個別事業(取組)評価				
事業No,	19	施策の柱への位置付け	柱③ 幼児教育改革	
事業名称	園内研修支援事業		担当課	幼保支援課
			当初予算額(千円)	1,848
			補正後予算額(千円)	1,173
			決算額(千円)	1,031

		当初計画	年度末点検・評価
①	現状(課題)とその要因	<b>【現状】</b> 乳幼児期にふさわしい育ちや学びに向けて、より質の高い保育・教育を実施する必要がある。 ※保育所保育指針の改定・幼稚園教育要領の改訂(H20.3)	<b>ア 正確に把握しているか</b> (Yes <input checked="" type="checkbox"/> No <input type="checkbox"/> ) 事業実施後のアンケート調査等で現状を把握している。
		<b>【要因】</b> ◆ 各市町村単独では、保育・教育の質を高めるための専門性を持った職員の配置が難しい。 ◆ 保育所・幼稚園等では、臨時職員やパート職員が多い。 ◆ 研修のための時間保障が難しい。 ◆ 保育所保育指針の改定、幼稚園教育要領の改訂に伴い、より保育教育の質の向上を図っていく必要がある。 ◆ 園で決まった指導計画の様式がなく、計画に基づいた保育教育の展開ができていない園がある。	<b>イ 十分に特定しているか</b> (Yes <input checked="" type="checkbox"/> No <input type="checkbox"/> ) ヒアリング等により各市町村、保育現場から集めた情報から、主要因を特定している。
②	目標(Outcome)	◆ どこにいても質の高い保育・教育を実現するため、保育所・幼稚園等が実施する園内研修を支援し、園内研修の充実を図る。 <b>【目標数値】</b> 新しく公開保育を実施する園数 13園 ◆ ブロック別研修会を実施し、ブロック内の保育所・幼稚園等の保育者が集うことにより、地域におけるネットワーク化と保育・教育の充実を図る。 <b>【目標数値】</b> ブロック別研修での公開保育への参加市町村率 100% <b>【検証(比較)方法】</b> ◆ 園内研修支援 ・園内研修実施後のアンケート ◆ ブロック別研修支援 ・公開保育後のアンケート	<b>ウ 達成可能で具体的な目標を設定しているか</b> (Yes <input checked="" type="checkbox"/> No <input type="checkbox"/> ) 園内研修の充実を図る上で、近年の実績を基に平成23年度に達成すべき目標を設定した。現状からも目標数値は妥当なものであると判断している。 <b>エ 目標は達成されたか</b> (Yes <input type="checkbox"/> No <input checked="" type="checkbox"/> ) ◆ 園内研修の新規園は14園であり、目標値を超えることができた。 ・実施後のアンケートでは全ての園が「参考になった」と回答している。また、95%の園が「今後も引き続き園内研修を実施する」と回答しており、継続した園内研修の実施や具体的な場面を通じた保育実践につながっており、保育者の質の向上が図られるようになってきている。 ◆ 2町村の保育所が、公開保育日に行事等の都合で参加できなかったため、公開保育への参加率は94.1%となり、目標値である100%を達成することができなかった。 ・アンケートでは、全ての保育者が「協議内容は良かった」「本研修会が参考になった」と回答しており、研修内容に満足している。
		◆ 園内研修への支援 ・公開保育を通して援助や環境構成の在り方などについて支援する。 ・「園内研修・指導計画の手引き」を活用し、指導計画の作成の仕方や園内研修の工夫が図れるよう支援する。 ◆ ブロック別研修会への支援 ・県内の13ブロックで研修実施園を決定し、実施園の園内研修を支援をする。 ・実施園の公開保育の支援と共に、同一ブロック内の保育士・幼稚園教員の連携が図られるよう支援する。	<b>オ 計画通り実施されたか</b> (Yes <input checked="" type="checkbox"/> No <input type="checkbox"/> ) ◆ 園内研修への支援 ・実施回数 139回 ・実施園 52園 ◆ ブロック別研修会への支援(研修実施園 13園) ・公開保育に至るまでの園内研修 23回 ・公開保育 15回 ・実施に向けた説明・協議 10回 ◆ 自主的、計画的な園内研修に向けて、「園内研修の手引き」を活用し指導計画の作成・見直しを行った園が見られるなど、保育実践の向上につながってきている。

総合評価と今後の方向	目標達成度 <b>C</b> 「No」を選択した項目 <b>エ</b>	<b>【今後の方向】</b> ◆ これまでの園内研修支援に加えて、ミドルリーダーの育成や保育士に主眼を置いた研修体系とするなど、教育センターと連携して、県内の保育現場の実態を踏まえた幼保研修の改善を図る。 ・教育センターの研修(ミドル研修)と幼保支援課のブロック別研修支援を連動させることで、園や地域で研修の中核となる人材の育成を行う。
	<b>【総合評価】</b> ◆ 園内研修とブロック別研修会における支援回数は、187回であり、前年度の実績である106回を超え、各園の研修に対する取り組みが積極的になっている。 ◆ 事業実施後のアンケートでは、参加者全員が「参考になった」と回答しており、効果的な事業となっている。 ◆ 「指導計画・園内研修の手引き」が園独自の園内研修に活用されるとともに、子どもの実態が指導計画に記載されるようになってきたことなど、意図的・計画的な保育が実施されるようになり、保育実践の底上げにつながっている。 ◆ 公開保育日に行事等により参加ができなかった園があったため、公開保育への参加市町村の参加率は、94.1%となり、目標値である100%を達成することができなかった。	